

平成31年3月にご退職された
先生から文章を
いただきました。

「楽しくなくちゃ英語じゃない!」



東京女子学園の英語教育は
これからの社会の中でグロ
バルに活躍できる力を養成
する、そして時代の先端を
行くメソッドを研究して実
践していくものと信じてい
ます。

東京女子学園を退職して
1年が経ちました。今のは
んびりとした生活を楽しんで
いますが、やはり東京女
子学園での36年間の教員生
活が懐かしく思い返されま
す。

私は、「楽しくなくちゃ英
語じゃない!」をモットー
に、生徒がグループやペア
で英語を話すことを競いな
がら教室を動き回るような
英語授業を工夫し研究して
きました。生徒全員が「英
語を持つようになったこの数
年、英語科では「思考力」「判
断力」「表現力」を必要とす
るこれからの時代を生きて
いく生徒のための大幅な改
革に取り組んでいます。iPad
を使用してテーマに沿った
画像や動画、イラストをパツ
クに自分たちの意見を英語
で自由にプレゼンテーショ
ンをするものです。私が若
い頃に経験したあの「わか
く感」を再び感じました。

卒業生のおたより

ごく楽しそうでした。また
ディズニーのアニメーショ
ン映画を英語で鑑賞し、そ
の内容が理解できた時のうれ
れしそうな表情は忘れられ
ません。

1992年頃からはネイ
ティブの先生とのチーム
ティーチング授業を他校に
先駆けて考案し、ワード・
ビンゴ(ビンゴ形式で英検
準2級までの単語を覚える
もの)、リスニング、ペア・
ワーク、レベル読み、グルー
プごとの盛り上がりゲーム
と毎回の授業の最後には大
切な文法事項を実際の会話

の中で覚えるゲームを作り
ました。1995年からは
日本中の英語教育の達人に
なりたいたい先生が集まる「英
語達人セミナー」に参加し
て、さらに楽しい英語授業
(アクティブラーニング)

の研修を受けて、栄光や明
治図書から「世界の英語か
るた」や「英会話月別1分
間メニュー&生徒熱中ゲー
ム33」などの本を英語科で
協力して出版しました。
また、多くの生徒が夏休
みにアメリカへの3週間の
海外教育研修に参加を希望
しており、参加した生徒や

保護者からは一生忘れられ
ない楽しい思い出になった
と高い評価を得ています。
2005年からは、オース
トラリアへの3か月留学制
度も立ち上げました。現地
の高校の生徒と共に学園生
活を送る経験は、自分の将
来の方向性を決める大きな
ターニングポイントとなっ
ているようです。2016
年にはセブ島英語研修も始
まり、生徒はマン・ツー・
マンの授業で英語力を磨い
ています。これらの海外研
修の引率の経験から英語科
では「すぐに話せるホーム

ステイ英会話」アプリを作
成しアップストアで配信し
ています。2003年から
は「TOEIC対策講座」
を開設したり、「ニンテンドー
DS」を使って単語を覚え
たりもしました。iPadは発
売された当初から、英語授
業に取り入れたいと考え、
発売の翌年(2012年)
から導入しました。そして
2013年にはそれまでの
チームティーチングの英
語授業プリントをまとめた
英語オリジナル教科書
「World Study」を作成し
ました。楽しくなくちゃ英

語じゃない!このモットー
をもとに新しいプログラム
を実施することに生徒の英
語力が伸びていくのを感じ
ました。今は、Facebook等
で日本だけではなく、世界
中に住んでいる卒業生の活
躍や、幸せな家庭を築いて
いる様子をうれしく拝見す
ることが出来ます。

「令和元年に古希を祝うよろこび」

高校20回生 昭和43年卒 (古希を祝う会幹事)

「令和」と元号
を改めた元年11月
16日の土曜日、東
京プリンスホテル
にて65名のご参加
をいただき高校20
回生の古希を祝う
会を開催すること
ができました。ご
存知の通りこの「令
和」は『万葉集』
からとられたもの
で、母校の校章で
あり校歌に詠まれ
た梅の花と重なり
合っています。な
んとすばらしいこ
とでしょう!歌い
継いできた校歌を
誇りに思います。
開会のあいさつ
に続き、恩師であ

り大先輩の先生に
ごあいさつと乾杯のご発声
をいただきました。古希を
迎えられましたことおめで
とうございます。みなさま
お若いですね。から始まり
先生の学生時代に留学され
た話や先生・先生
とのエピソードなど91歳の
先生はとてもお元気で若
く凛とされたお姿に古希の
私達が励まされました。先
生のあたたかいお心遣いに
感謝を申し上げますと共に
ご健勝とご多幸をお祈り申
し上げます。

光陰矢の如しと申します
が、卒業以来52年ぶりに参
加された友もすぐに学生時
代に戻りました。東京タワ
ーと共に成長し歩んだ若い日々
が懐かしく思い出されます。
登校時には絢子先生像に一
礼すると共に先生方や風紀
委員の服装チェックを受け
一日の学校生活が始まりま
した。石炭を使用するだる
ますトープの時代でした。
九州への修学旅行は生徒数
380人からの大移動で先
生方にご苦労をおかけいた
しました。私たちの今は、
現役で仕事を続けている友
ボランティア活動をしてい
る友、介護のお世話をして
いる友、趣味を楽しんでい
る友、孫の世話で忙しくし
ている友、遠方や歌山から
参加された友たちはとても
美しく輝いていました。参



古希を祝うよろこび

加された皆さまは各テー
ブルごとに近況報告などして
盛り上がりつつありました。
終わりに、参加者全員が
背筋を伸ばして一小節一小
節の内容をかみしめながら
「令和」にちなむ校歌を歌
いました。感激して涙ぐむ
友もいました。この、かけ
がえのない大切な思い出を
これからの人生の一ページ
に加えていただけたら幸い
です。令和元年の記念すべ
き年に古希を祝う会で青春
を共にした仲間と感動を分
かち合えたことに感謝の気
持ちでいっぱいです。先輩
方からの経験に基づく貴重
なアドバイスも心強く、会
の成功へと導きました。
私たち幹事一同も心をひ
とつにして楽しい思い出作
りができました。みなさま
の心身共に健康でまた再会
できます事を祈念してお
ります。最後に東京女子学園・
清香会の益々の発展をお祈
り申し上げます。

「水無月の会」として2019年春より母校A館4階の清香会室を月に一度お借りしておりますので、会の成り立ちをご紹介しますことにいたします。

この会のメンバーは高校3回卒業の同級生。今から30数年前、さんの提案から、百人一首をやりましたという意見で、

「月村さんと百人一首の会」

高校3回生 昭和26年卒

さん、私の5人でその頃に彼女が一時借りていたマンションの二室で月に一度の例会を楽しんでいました。それぞれ子どもの頃からやってきた人が多く、記憶を呼び戻すことおしやべりで、月日を重ねました。かるた取りだけではなく、それぞれの句の意味を学ぶことも始めました。その後、彼女の学んでいる書道で仮名文字の参考になるからといって、尾形光琳の書と絵の描かれた高価な「光琳かるた」を購入され自宅へ戻られてから優雅な美しい札の変体仮名を学びながら、月に一度の例会をたのしみました。更に橋本さんと前川さんも加わり、にぎやかな時を過ごしました。一首ごとの解説も二巡

しましたので、古典の中でも現代に通じる「徒然草」を読むだけでもとって現



左から二人目がさん

在百十五段まで読んでいます。(筑摩書房刊「徒然草」島内裕子抜訂訳)

合間に京都の冷泉家を訪ねたりもしました。そして月村さんはまた優れた料理人でもありました。例会には腕ふるって下さりお昼付き、私は今でも松茸の季節になると彼女の土瓶蒸しの味が忘れられません。もちろんその為には各地の名店をご存知で、私の藍綬褒章の受賞お祝いの会を六本木にある宮殿のようなレストランでやって下さった事も思い出のひとつです。ところが2018年11月

絢子師の永遠に見守る梅真白
橋越ゆるたが紅梅に近づきぬ
吊し離揺れて私心無かりけり
三猿の指解けさう春うらら
味噌餡の草餅父は信濃人
母馬の視野の子馬がよく跳ねて
理科室に名を付けられし蛙かな
山彦に応へは一つ二輪草
鐘霞む戒めの窓真つ四角
灯せる花の妖しき祇園の碑

「梅真白」

高校3回生 昭和26年卒

(旧姓：)



水無月の会

月村さんは急逝され、続かず。さん体調が悪く不参加が続き、しばらくお

「時が流れてもかわらないもの」

高校61回生 平成21年卒

めでは、まず体験しないであろう、利用者のご自宅への訪問や通院の同行など、日常生活の場に入って支援をしていく仕事です。人ととの距離感がとても近い仕事

高校卒業後は日本文学を学ぶために大学へ進学しました。四年生の時には教育実習で再び母校にお世話になりました。その後就職活動に苦労しましたが、自分が本当にやりたいことを考えなおして専門学校へ通いました。社会福祉士と言う福祉分野の相談援助職に就くことができました。一般企業のお勤

休みしていたのですが、彼女の遺品として「かるた」を戴いたので「水無月の会」として復活し、新しくさん、さんも加わって総勢六名で現在に至っています。

もちろん加齢(87歳)という悪条件が加わって、いつまで続けられるのか疑問なのですが、彼女の意思を継いで存続したいと思っています。(氏名は旧姓で統一しました)

仕事以外では、同じクラスの人たちと食事に行くことが現在でもあります。転職したり、結婚する人も出てきました。生活は様変わりして、それぞれが忙し



くなりりましたが同級生との関係は今でも変わりません。皆で集まる時は、高校時代に教室でわいわい集まり話をしてきた時と同じような感覚に戻ります。いつも思い出話に花が咲きます。修学旅行では、明け方まで怖い話で盛り上がりましたがその後には怖くて眠れなくなってしまう2枚の布団に5人がだんご状になって寝ました。その挙句の果てには、次の朝に班員そろって寝坊した……という出来事がありました。先日集まった折にも、この話しになりました。「よくよく思い出してみれば、おとなしそうな顔をして、私たちも結構自由に過ごしたね」と笑い話になりました。あの頃は当たり前前に着ていた制服も、今になって思い返すと「すてきだったなあ」と気付かされたり、もつと英語の勉強をしつかり受けておけば良かったなあ」と考えたり、色々な思いが頭に浮かびます。大人になったからこそ視野が広がって視点も変わって、そのように感じることもあるのかと思います。初心忘れるべからず」という言葉にもあるように、謙虚に素直にやわらかい頭で物事を考えられる人になれるように頑張りたいと思います。

●同期会報告(1) 高校70回生(平成29年卒) 成人式の集い

令和2年1月13日、学園向かいのザ・セレスティン芝・東京のレストラン・ラブルーズ東京にて校長先生ほか70名で成人の日を祝いました。司会進行は



祝辞に始まり、乾盃のご発声は先生にお願いいたしました。久しぶりに会った同級生や先生方と近況を確かめ合い、在校時のエピソードで話が盛り上がりました。10年後の30歳には高校卒業時に書いた「30歳の私へ」手紙タイムカプセルをみんなで開けましょう。

「卒業50年後の同期会報告」

高校21回生 昭和44年卒業

令和になって1か月後の6月1日に、卒業して50周年という意義を込めて同期会(昭和44年卒業)を学園内のOJエリアで開催しました。

2月頃から準備をスタートし、代表役員で打ち合わせを重ねていくうちに、どんどん気持ち盛り上がりつつも、開催がとてもしみじみして、手作りのこの会は、たくさんの方のご協力を得て迎えることができました。ご主人にパソコン操作を教えた方もお知らせの往復はがきを作成された方。50年



卒業して50年

前を思い出せるようにと卒業アルバムをスライドにして下さったご主人。ポップ制作をしている妹さんがすてきなポスターを描いて下さりました。

当日の受付では「何組でしたか、お名前を……」「〇組の〇〇です」「ここまでは敬語の会話でしたが、えっ!! 〇〇ちゃん、変わってない」「うっそ!! 〇〇さん、変わりません!!」と抱き合っていました。50年が経過しているのに、変わっていない訳はないのに、不思議なことですが、出会って数秒で乙女の顔になるんですね。テーブルには、ケータリングの料理に加えて、皆さんが差し入れて下さったお菓子が盛り沢山になりました。司会の第一声で42名の集いがスタートしました。手品の披露があり、健康体操

設営をされた方、等々たくさんのお陰です。

当日の受付では「何組でしたか、お名前を……」「〇組の〇〇です」「ここまでは敬語の会話でしたが、えっ!! 〇〇ちゃん、変わってない」「うっそ!! 〇〇さん、変わりません!!」と抱き合っていました。50年が経過しているのに、変わっていない訳はないのに、不思議なことですが、出会って数秒で乙女の顔になるんですね。テーブルには、ケータリングの料理に加えて、皆さんが差し入れて下さったお菓子が盛り沢山になりました。司会の第一声で42名の集いがスタートしました。手品の披露があり、健康体操

操の本を出版した方の「歩き方のポイント」ミニ講座あり。そして参加者一人一人のひとこと発言と続きました。最後に懐かしい校歌を元気に斉唱、あつという間の2時間でした。

お開きの後で棚橋絢子先生の胸像がある図書室に移動し、一礼をして帰途につきました。

在職の先生方には、校舎玄関から会場までの案内やマイクやスクリーンの設置準備や片付けまでお手伝いをいただきました。試験中というご多忙な時にもかかわらず最後まで快くご対応をいただき、本当に感謝しております。

東京女子学園の益々の発展を祈っています。



例年1月末、高校1、2年生を対象に、進路学習の一環として卒業生による講演会が行われます。2019年の演者を紹介します。個性豊かな卒業生の講演に生徒も興味津々でした。略歴と講演題目を紹介します。

○さん 78年卒
2000年より㈱三井コスメティクス代表取締役社長就任、化粧品開発と共に、自社製品の海外市場開発も手がける。18年から東京女子学園清香会会長就任。演題は「人生は一度きり思いっきり楽しもう」

○さん 03年卒
東京薬科大学薬学部生命薬学科卒。08年より㈱メディセオ勤務。医薬品卸売業にて医療情報コンテンツ作成担当、2児の子育てに奮闘する毎日を通して。演題は「自分の可能性は無限大! 色々なことに興味をもとう」

高校1年生担任として部活動や生徒会の指導にかかわる生徒の感想から、

○さんの「失敗したという事はひとつ経験したこと」失敗してもあきらめない気持ちで進みたい。「出る杭は打たれるが出すぎる杭は打たれない」好きなことをとことん突き詰めれば夢は叶うという強いメッセージと受け取った。

○さんの「自分が何に興味があるのか常にアンテナを張り巡らす」いろいろなことに興味をもってあきらめない気持ちで臨む」が心に残った。今しかできないことに全力で取り組む姿勢が勉強になった。

○さんの「社会で柔軟に生き抜く人を育てる」と言う信念が素敵だと思えた。「回り道をする事で自分の夢に近づけた」夢の実現に年齢は関係ない。焦らずに進めたいと思った。

○三名の先輩が揃って、東女で学んだ多くのことが社会に出て困ったときの解決策を教えてください。役に立っていると感じ、しっかりと毎日の勉強を頑張りたいと思つた。同じ学校の卒業生が社会で活躍されている姿を見て、自分もこのままではいけないと思えた。自分に向き合い考えることが先ず大切。未来の自分に期待したい。

令和元年 教育実習生

5月下旬から3週間、7名の68回生(平成28年卒)が訪れました。

生徒一人ひとりが「英語」を使って課題を提出したり、またプレゼンテーションが容易にできるツールなどを巧みに使いこなす学習は本当に素晴らしいと思った。

(美術)

専攻しているテキスタイルのルデザインは中学では学ぶ機会がない。前例がないのだから自分で教材研究を工夫するしかない。楽しかった。

6年間を過ごした学園での実習は刺激的であり、実習生の立場になって見えたものは全く違う景色だった。常に疑問を持ち、アップデートできるようにしたい。

3年間通った学園で実習ができ、教員の目線から見られるものは面白い反面大変だった。自分が頑張るほどやりがいが増してくると感じた。

(音楽)

生徒が注目するような表情や話し方、一人ひとりに声かけをするなど、少しの変化で表情やクラスの雰囲気さえ大きく変わると実感できた。



(理科)

中学高校と6年間を過ごした学園で、同期7名の実習生が三週間を切磋琢磨し

ダンスの授業で多くの生徒たちとコミュニケーションをとることが出来たのがいちばん印象深い。生徒との関わり大切さや、やりがいを感じた。

計 報

先生(数学)

令和元年7月31日、90歳で逝去されました。昭和22年から55年まで33年の長きに渡りご指導を下さいました。ご冥福をお祈りいたします。

○さん 06年卒
東京家政大学家政学部環境情報学科卒。8年間の非常勤講師を経て18年より神奈川県内私立高校勤務。

令和元年6月6日、卒業後昭和・平成・令和と74年の歳月が流れましたが、学校時代の友人は格別で、無邪気な会話で楽しいひと時を過ごしました。

令和元年6月6日、卒業後昭和・平成・令和と74年の歳月が流れましたが、学校時代の友人は格別で、無邪気な会話で楽しいひと時を過ごしました。

平成31年3月9日(出)高校6回生の同級会を学園OJエリアにて開きました。20名の級友が集まりにぎやかに楽しいひと時を過ごしました。

同期会報告(2)

高女41回生(好文会)

昭和20年(1945年)卒

令和元年6月6日、卒業後昭和・平成・令和と74年の歳月が流れましたが、学校時代の友人は格別で、無邪気な会話で楽しいひと時を過ごしました。

高校6回生(昭和29年卒) 同級会

